

新山協ニュース

▲ 発行者 鈴木敏雄 ▲ 発行所 新潟県山岳協会
〒940 長岡市学校町1-12-23 室賀輝男方 TEL 0258-32-0428

津南山岳会頑張る!!

— 苗場山登山道 大赤沢口開設 —

苗場山の西側(裏苗場)にこのコースが完成しました。は、登山道として小松原を経この完成を祝い、10月26日由するコースと、小赤沢と上には県山協の御協力を得て、野原コースが広く知られてい記念山行を行いました。ますが、小松原コースは展望、当日は天気にも恵まれ、総景観共にすばらしいが、行程勢53名で、山頂は新雪40cmが長いので一般には下山用として利用されており、又、小赤沢、上野原コースは、頂上近くにならないと眺望がきかない等のことから、津南山岳会では、眺望も良く距離的にも手頃なコースとして、山頂端に位置し、すり鉢を伏せた直下から猿面峰(1832m)のような型の山で、別名「石鉢山」とも呼ばれ、山頂には標高5555mの二等三角点を有する……これがガイドブックの説明でした。徳川3代将軍家光のお墨付きと言われる「日本国山」その気宇広大な素晴らしい名前にひかれ、出かける前から「日本国」征服

「日本国山」

親睦登山に参加して

新潟ピオレの会 小池敦子

麓は紅葉という晩秋の苗場への日帰り山行を楽しんでいたできました。

「日本国山」新潟県の最北に食指が動きました。

地元の人々の言い伝えでは「日本国山は祭れば祭る程天気が良くなる」。そうですが、まさにその言い伝え通りに、前日まで悪天候が嘘のように晴れあがり、午前7時半、地元小俣部落の人達の心尽しのきのこ汁までついた朝食を頂き、元氣よく山へ向かいました。

始めはきつい一気の登りを上りつめると、小俣部落も眼下に一望でき、蛇逃峠を越えて、最後の登りまで若干の上り下りが続きました。最後の登りを上りつめると、そこは展望台付きの頂上でした。西側眼下の日本海には、粟島が夢の如くぼっかりと浮かび、東側には飯豊・朝日の山々を遠望する雄大な眺めは、一寸とした日本国征服の気分にとりましました。

荒川ワンゲルの皆さんが差し入れたビールで乾盃、その後地元の人達が作ってくださったおにぎりや、山の料理で地方の人達との交流親睦を深め、全員無事下山、閉会式に参加しました。

「日本国山」なる堂々たる名前に半分つられて参加した親睦登山でしたが、最後に部落の人達や地元の人達の皆さんには、いろいろとお心遣いを頂き厚くお礼を申し上げます。

す。

め、一介の山岳会程度では折衝が進まずにいたが、このたび津南町の御努力により、こ

素晴らしい名前にひかれ、出かける前から「日本国」征服

す。

す。

日本国 (555m)

新潟県山岳協会親睦登山
昭和61年10月4日~5日

長岡ハイキングクラブ

渡辺靖男

4日(土)、高速道路を80Kmで走る。ドアが無い車なので冷たい風がビューンビューン入って来る。半袖では寒過ぎるので、長袖を着る。後部座席は雨具も着なければ乗ってられない。寒いからと車から降りて帰る訳にも行かない。途中雨が降り出し、とうとう車の中で雨具上下を着込む。東港、瀬波温泉、笹川流れ経由で勝木の開発センターに18時30分着。3時間30分のドライブとなる。

構参加している。結局飲んだのは25本とのこと。みんなどういいう胃袋をしているのか、一刀両断切り開いて見てみた。5日(日)、小俣小学校を借りて駐車場にする。早速地元の人達「日本国を愛する会」の人達が作ってくれたオニギリで朝食。場所は小俣保育園で、味噌汁付きである。お茶も出る。漬物も大きなタッパ1に入れてデューンと出ている。参加者のサンマの目が輝いてくる。食後、お昼の弁当をもらって出発準備に取り掛かる。トイレ、休憩所付きである。山奥の村としては、何とか日本国を観光用に売り出したいと思っ

19時より山北町板垣助役を囲んでの親睦会。3000円会費で、3食付き、酒は身体

杉林の登り口付近が少し急かな、と思われる程度でラジウム清水に着く。この水を飲むと長生きをすること。全員の一生懸命飲んでいるが、余命に何割か延びても、全体としては変わり無いのではな

の続く限りと言う。どのよう

か？ 飲むのなら赤ちゃんの時から飲まなければ意味がないのではないか？ 今までの登山道である。1時間10分の登山道である。1時間10分の登山道である。1時間10分の登山道である。

なマジックになっているのか

好き勝ってしてきて、これ以上長生きしたら家族が迷惑するのではないかと。蛇逃峠では蔵王堂

サッパリ解らない。47名の参加。女子、実年以上の人も結

たいと思っ

加。女子、実年以上の人も結

たいと思っ

昭和62年度
評議員会開催案内

期 日 昭和62年4月5日(日)
午前9時30分より

会 場 新発田市五十公野瀧尻 柵瀧湖畔
新発田市青年の家
☎0254(23)5840

議 題 昭和61年度、決算、事業報告
役員改選
昭和62年度、予算、事業計画、他

※ 出席、欠席(委任)は協会事務局まで
お願いします。

※ 懇親会の開催について
4日(土)午後7時より同会場にて、
加盟団体会員の親睦会を予定しております。
併せて参加をお願いします。

経費 1泊2食、懇親会共
1人5,000円

申込 3月31日(火)まで
長岡市学校町1-12-23 室賀方
新潟県山岳協会
☎0258(32)0428

※ 当日、分担金の納入をお願いします。

藪の中へ飛び込んでしまふ。ここはしっかり一歩一歩足を開いて、逆ハの字型にステップをつけないと怪我をしてしまうコースである。時間は40分位で車道まで出る。途中蔵王堂に寄り参拝する。徳川時代の元和元年、大阪夏の陣1615年の時持ち帰った神体が祭ってある。登山道のすぐ脇だから時間のロスは無い。古き良き物を見て目を養っておくことが大切である。あとは部落の外れに、子供を泣かせて健康を顧みた白山神社がある。大きな杉の大木が有り一見の価値がある。ナメコの缶詰工場もある。庭先の農夫に声を掛ければ安く分けてもらえる。栗、山菜等も露店のように並んでいる。県内各地から距離はあるが、手ごろに登れる山である。

是非多くの人から山の名称を楽しみ、思考しながら登ってもらいたい。充分楽しめる山である。

新潟市、東総合庁舎において、指導員の研修会が行われました。

指導員60名の参加を得まして、午前、新潟県山岳会、筑木力氏から、自らの足跡からの山行、記録の残し方、今後の計画等の講話を聞きまし

た。午後、遭難対策委員長五十嵐篤雄氏から、事故状況の報告と対策、心構えについて、その後、各会の現状、運営、装備、今後の計画等について報告があり、無事終了しました。

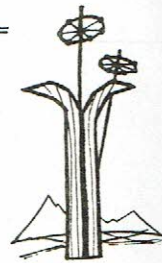
当日、指導員の高齢化の話

指導員研修会

昭和61年12月7日

田中栄弘

第19回 苗場・小松原スキーツアー



- 主 旨 雄大な春山をスキーで散策し、相互の親睦と交流を深める。
- 期 日 昭和62年3月29日(日)
- 場 所 苗場山神楽峰 ~ 小松原 ~ グリーンピア津南
- 主 催 新潟県山岳協会
- 主 管 津南山岳会
- 参 加 者 主旨に賛同する者で、スキー技術が中級程度以上
- 装 備 山岳スキーに必要な物(ゲレンデスキーで良いが流れどめは紐を使用する) 両具他
- 食 糧 昼食 1食分 他
- 参 加 費 4,500円(送迎バス、リフト、ゴンドラ、写真)
- 日 程 但し、三俣高原スキー場(ゴンドラ始発駅)から参加する人は3,500円
津南町役場前 5:40集合、5:50出発 → バス → 三俣高原スキー場(ゴンドラ始発駅) 7:30 → 神楽スキー場リフト終点 9:10 → 歩き → 神楽峰 9:40……出発 10:00 → スキー → 霧の塔 11:00 → 釜川の頭 12:00……昼食……出発 12:40 → 小松原小屋 13:30 → グリーンピア津南 15:00……休憩……出発 15:30 → バス → 津南町役場前着 16:00
- ※ ゴンドラの予約の関係もあり出発時間は時間厳守願います。
- 申込締切 3月20日(金) ※ 当日が雨の場合は中止
- 申 込 先 中魚沼郡津南町 津南町役場内 津南山岳会
石橋 雅博 ☎0257(65)3111

※ 申し込む人は、上記申込先へ手紙で住所、氏名、年齢、性別、電話番号、参加場所を連絡して下さい。

が出ましたが、指導員として、昨年、今年と、指導員の資格を有しながら、活動の少ない方の整理を進めてきました。山を愛する情熱は、多大なものをおもちの方々ばかりとは思いますが、組織の活性化の為に極力行事に参加をお願いします。

会報

今後については、指導員の点数制についての話も出ております。新しい制度が無くとも、協会運営が盛り上がるようお願いいたします。

高田ハイキングクラブより、会報「なんば8号」が発刊されました。三部構成で、一部山行報告、二部山と随想、三部その他で、会務関係となっています。61年度の同会の記録誌であり、会員のコミュニケーション誌となっています。

活用事業

県内の優れた体育・スポーツ指導者を登録し、求めに応じて紹介する事業。

山田智子 越後山岳会
小林由夫 今回発刊の「続・片雲往来」

紹介コーナー

「続・片雲往来」の発刊

新潟県山岳会会員の山村幹雄・遁所疆二両氏の共著による「続・片雲往来」が発刊されることになりました。上村幹雄氏は、一昨年に58年まで30年間の山歴を「片雲往来」の名著で出版され、越後の山々の息吹やメンバーの生き生きとした姿を伝えています。

新聞の発行が不定期で苦情が寄せられております。心待ちにしておられる方が多いのに、意に沿えなくて申し訳ございません。

2月21日の理事会でもこの問題が取り上げられ、議論されました。今迄以上に努力すべく事務局頑張りたいと思います。

お詫びとお願い

スポーツ安全保険の加入について

対象スポーツ	山岳登はん(3種)他も あります。
保険料	17,190円(年間)
傷害保険金額	死亡 600万円 後遺障害 600万円 入院日額 3,800円 通院日額 1,200円
賠償責任保険のてん補限度額(1事故)	身体賠償 5,000万円 財物賠償 100万円
加入受付期間	昭和62年3月1日～ 63年1月30日まで
問合せ	〒951 新潟市川端町2-9 新潟県林業会館内 財スポーツ安全協会新潟県支部 ☎025(228)6320

月

昭和62年4月
昭和65年3月

登録期間

津南山岳会

清水迪男

津南山岳会

桑原悌治

秀峰山岳会

小林由夫

越後山岳会

発行 3月下旬、申込み者のみの限定印刷。

定価 1800円(約400頁)
発行回数を増やしたいと思います。

としてお薦めしたいと思います。

行案内書として、貴重な文献

は、58年以降の山行記録をまとめたもので、越後山岳の紀

個人より、話題提供投稿をお願いいたします。原稿が無いこと

には紙面を飾れません。

また少ない予算の為、今後は広告も載せて資金を確保し、発行回数を増やしたいと思います。

つきましては、各会より、原稿、広告企業の募集に努められ、協会事務局迄御連絡下さい。

遁所疆二
025(266)5086

025(266)3531